

脱原発・再エネ推進アクション学習企画

原発事故、戦争が 私たちの暮らしに問うこと

2026

オンライン参加募集

11.1日 14:00-16:30



Happy
to be
Nuclear
Free

原発のない世界

今年は終戦から81年、チェルノブイリ原発事故から40年、福島原発事故から15年です。戦争、原発事故には共通している背景、現代社会の課題があります。その本質は何か、私たちの暮らしは何を犠牲にしてきたのかを問い直し、原発問題を一人ひとりの問題として捉えるための学習会を開催します。

※本企画はオンライン参加を基本として開催いたします。会場スペースの都合により、会場参加は関係者のみとさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

プログラム① トークセッション

ゲスト 青木理（ジャーナリスト）

慶應義塾大学文学部卒業後、共同通信社に入社し、社会部で警視庁などを担当、その後は外信部に移ってソウル特派員などを歴任。2006年に退社後はフリーランスとして独立し、各種の事件や事故、災害、刑事司法、朝鮮半島、メディアなど多岐にわたるテーマの取材・執筆を続けている。
主な著書に『安倍三代』（朝日新聞出版）、『日本会議の正体』（平凡社新書）等多数。

樋口英明（元 福井地方裁判所 部総括判事）

京都大学卒業後、1983年任官。2014年5月21日大飯原発運転差止判決。2015年4月14日高浜原発運転差止仮処分決定。2017年定年退官。主な著書に『私が原発を止めた理由』『私が原発を止めた理由増補改訂版』『南海トラフ地震でも原発は大丈夫と言う人々』『司法が原発を止める』など。

聞き手 半澤彰浩（株）生活クラブエナジー顧問）

プログラム② 東京電力柏崎刈羽原発 視察報告

10月に実施した柏崎刈羽原子力発電所の視察について、参加した脱原発・再エネ推進アクション実行委員会より報告します。

お申込み

二次元コードを読み取り、申込フォームからお申し込み下さい。



脱原発・再エネ推進アクションとは

22の都道府県にある各生活クラブ生協が一斉に脱原発・再エネ推進を求め、様々な活動を展開するものです。活動内容は、署名活動、関連イベント(学習会・関連映画上映会)、再エネの発電所の視察など。各地域の生活クラブが独自に様々な活動を展開します。生活クラブ生協だけでなく、これまで脱原発、再エネ推進をともにすすめてきた各団体とともに声を上げていきます。

署名活動実施中！

持続可能な未来のために、
原発の廃止を求める署名
(署名メット12/31)

